



25

この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2020年10月25日号

編集 / 毎日新聞社販売局D・クリエーションセンター



日本のワインを変えた男

11月1日(日)=1面、ストーリー面



「ワインに全てを懸けている」。ブルース・ガットラブさん(58)＝写真＝を知る人はそう評します。米国から来日して30年。知的障害者がぶどう栽培や醸造に関わる栃木県足利市の「ココ・ファーム・ワイナリー」に飛び込み、作り上

げたワインは主要国首脳会議に供されるなど高い評価を受けるまでに。これまで栽培方法などを巡って日本人スタッフとぶつかったこともありましたが、ココ・ファームはブルースさんにとって「ワイン作りを探求する場」となりました。そ

してブルースさん一家は2009年、北海道岩見沢市に移住。新たな可能性を探っています。「日本のワインを変えた男」とも言われるブルースさんが歩んできた道のりをたどりました。

特集 ワイド

田中真紀子・村上誠一郎の政界異端児対談

26日(月)=夕刊特集ワイド



菅義偉政権が発足して初めての本格的な国会論戦となる臨時国会が26日に開会します。永田町の外側と内側から厳しい視線で政権を見つめているのが、田中真紀子・元文部科学相＝

写真⑥＝と村上誠一郎・元行政改革担当相です。政界の「異端児」とも言える2人が、腹藏なく菅政権について語り合いました。

人生100年クラブ

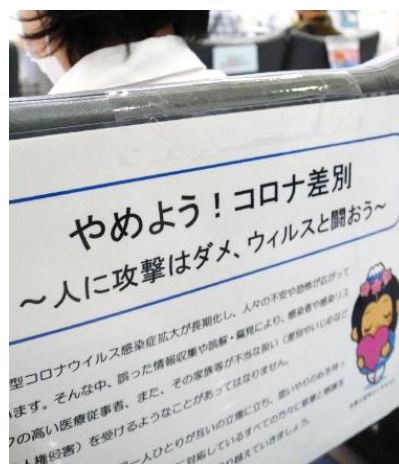


スマホアプリを作りたい

11月1日(日)=暮らしナビ面

アナログからデジタル社会への移行を強力に推し進める菅義偉政権。でも、デジタルスキルのない高齢者はついていけないのでしょうか。そんな不安を解消してくれるのが高齢者

が使えるスマートフォン(スマホ)アプリを開発している若宮正子さん(85)。「世界最年長」の開発者に、その極意を聞きました。



論点

感染者たたき

なぜ?

28日(水)オピニオン面

新型コロナウイルスを巡る差別や中傷が全国で報告されています。クラスター(感染者集団)が発生した病院や学校には、批判が寄せられ、学校でもいじめの原因にもなっ

ています。医療従事者や家族への偏見も深刻です。国などは科学的な見地に基づく冷静な対応を呼び掛けているが、「感染者たたき」はなぜ止まらないのか。3

人の識者に対処法を聞きます。
【写真説明】静岡県富士宮市が作成した感染者への差別をしないよう呼びかけるポスター。富士宮市役所で長沢英次撮影

竹橋の窓辺から

編集後記



例年なら野球はそろそろオフシーズン。しかし今年は、プロ野球の優勝争いは大詰め、高校野球も秋季大会が真つ盛り。来月はプロ野球日本シリーズ、都市対抗野球と、野球好きの私にはたまらない季節です。
主催事業の都市対抗野球を盛り上げるため、有料オンラインイベント「社会人野球のレジエント」が語る。俺たちの都市対抗」を企画致しました。興味ある方はぜひご参加ください。
(渡部竜之介)

イベントのお申し込みはこちらから

